

団体名	備前市体育協会
	代表者 会長代行 玉野 義文 記載者 波多野 靖成
所在地(市区町村名のみ)	備前市
活動目的	岡山県下で小中学生から一般までの幅広い世代が競う駅伝大会の中でも、有数の歴史と最大級の参加者があり、この駅伝競技を通して地域の連帯感を高めるとともに、事業所・学校・クラブチームの連帯と競技力向上を目指し実施する。
団体の紹介	備前市体育協会（会員3700人）は旧備前市、日生町、吉永町合併後、平成20年度より旧市町の体育協会組織を一本化して発足。地域の実態や伝統を考慮した事業、大会を行っている。地域や加盟団体が融合し、生涯スポーツの推進、地域に根ざしたスポーツ振興を目標に活動。最大の行事である「えびす駅伝」は独立採算で参加料・企業寄付・広告掲載料で賄っている。
助成を受けての活動内容	<p>「備前市えびす駅伝競走大会」は県内でも有数の歴史と伝統があり、昭和28年2月10日、「恵美須宮はだか祭奉賛第1回駅伝競走大会」として開催以来、「えびす駅伝」としてその名を変えることなく、今日に至りました。第65回大会はマルセンスポーツ・文化振興財団様より助成をいただき、15年振りにコースの変更を行いました。また中学校の部を参加しやすいように区間を短縮し、時間をずらして行いました。体育協会会議でもその旨を説明し、助成を受けた旨は大会要項への記載、要項のホームページ掲載、公式プログラムへの掲載、当日のアナウンスで公表いたしました。大会は冒頭で本大会の歴史を飾った（中学時代に区間賞獲得、但し男子の部として！）重友梨佐選手への体育功労賞受賞式、全国高校男子駅伝で岡山県勢初優勝を飾った倉敷高校チームの優勝旗返還など、全国的にも有名な選手の紹介、今年の箱根駅伝出場選手の新コース5区への登場など、華やかな雰囲気の中で行われました。結果は全国優勝メンバーを半数登用した倉敷高校の10連覇達成となりました。助成金は電子計測区間を3区間とし、豚汁のサービス、警備体制の強化に活用いたしました。今年も参加チーム138チーム、参加者1,100人は岡山県下最大規模の大会になりました。</p>
助成を受けての成果	<p>競技役員200人以上、豚汁のボランティア50名以上の方に熱心に携わっていただいておりますが、15年ぶりのルール・コース変更に伴う交通規制などは、助成を頂かないととても対応できるものではありませんでした。また重友梨佐選手の来場、倉敷高校の全国優勝メンバーの出場など豊富な話題性と多くの一般市民ランナーの共演は、参加者や沿道の市民に大きな話題を提供し、コースの地元も大変盛り上がりました。何より大きな事故がなく無事に大会を終えたことが一番の収穫でした。</p>
今後の活動の課題点	<p>次年度は助成分の収入を除いた運営をしなくてはなりません。ルール・コース変更初年度の本年は電子計測の導入を増やしたり、交通規制に多くのガードマンの配置をしましたが、ボランティアで賄えるところは賄い、経費の削減はしても選手の安全第一での運営を行います。</p>
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)	<p>問合せ連絡先：0869-63-3813（備前市体育協会事務局） 来年第66回大会もボランティア募集します。</p>

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)
写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。

第 65 回 備前市えびす駅伝競走大会 開催の様子 (平成 29 年 2 月 11 日 備前市総合運動公園 多目的競技場 (陸上競技場))

